

令和3年度学校関係者評価

中央動物総合専門学校 動物総合学科

令和3年度学校関係者評価委員

■保護者

平岡 茂 様 動物総合学科動物看護師コース平岡裕華さん 保護者

■企業関係者

天野 弘 様 静岡県獣医師会常務理事

■他校関係者

遠藤 志保 様 中央医療健康大学校 理学療法学科 副学科長

1. 教育理念・目標

【自己評価結果】

		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	B
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	B
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	C
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	B

【現状の問題点】

教育目標を日々の教務・業務に活かすことができていない。定期的な到達度確認と個人目標を含めた目標意識を高めていく必要がある

【改善のための方策】

令和4年度は今年度より早めに教育目標・組織目標を立て、バランススコアカードに落とし込み、実現するために定期的な確認を行う。☒

【関係者評価】

(平岡様) 就職率が良いのであれば、先生方の目標は達成されたのではないですか？保護者としては就職をちゃんと考えてくれることを望んでいる。就職率が高いのはとても安心できる。

2. 学校運営		
【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	B
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	B
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	B
9	組織内の連携は適切に図られているか。	C
10	上司の指示は適切にされているか	B
11	上司は提案を受け入れてくれているか	B
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	C
13	BSCは適切に活用されているか。	C
【現状の問題点】		
コース間のコミュニケーションが不足している。また、計画的に業務を準備し、協力して実施していくことができていない。		
【改善のための方策】		
業務の効率化を行い、共有・打ち合わせを実施する。特に情報共有は教職員全体で常に意識して業務にあたっていく。		
【関係者評価】		
(遠藤先生) 学科間のスモールミーティングを細かく行い情報共有をしている。学科を越えての交流ができるような取り組みもしている。BSCについては医療でも課題が多い部分である。職場内での教職員教育指導十分になされているかの項目は評価が低いので見直していきたい。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	B
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	C
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	B
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	B
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	B
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	B
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	C
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	C
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	B
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が来ているか。	D
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	B
【現状の問題点】		
教員が期待する教育効果を出すことができていない。原因として計画的に準備するための会議時間の不足をスモールディスカッションの多用などで克服していきたい		
【改善のための方策】		
低学力者に対する対策を他校に学びながら当校に活かしていきたい。スモールディスカッションの活用は5分間ミーティングやチャットスペースを有効に活用する。		
【関係者評価】		
(遠藤先生) 中央医療も23番の項目の評価が低かった。できなかった行事を振り替えていると準備が間に合わなかったりするので来年度に関してはいろんな延期をせずに予定の期間内でできることをするようにしたい。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	B
27	退学率の低減が図られているか	A
【現状の問題点】		
今年度初めての卒業生を輩出したが、就職率と就職企業は高い結果となった。また、退学率は専門学校の平均と比較しても低い数字を維持している。		
【改善のための方策】		
全コース就職率に関しては、指導が難しい学生に関しても内定をもらうことができた。引き続き就職指導を徹底しつつも改善すべきところは改善したい。退学率も低いペースを維持しているため、引き続き学生が相談できる環境を維持していきたい。		
【関係者評価】		
(平岡様) 動物が好きという根本があるから、学校で教えてもらったことを自宅で話してくれる姿を見ると学校=楽しいにつながっているように思う。		

5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	B
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	B
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
<p>スクールカウンセラーの予約をWEBでできるようにするなど、相談しやすい環境を整える必要がある。また、早期に学生の悩みや不満に対応するため、柔軟に面接時間や場所、対応教員を変更する工夫が必要</p>		
【改善のための方策】		
<p>スクールカウンセラーの予約をWEBは早期に仕組みを構築したい。面談対応は教職員間で情報を共有して、対応を考えていき実施する。</p>		
【関係者評価】		
<p>(平岡様) 就職支援について特に不満は聞いていない。防災訓練を行っているかが気になった。</p>		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
教育機器備品は徐々に整備されつつあり、教育の質の向上に寄与している		
【改善のための方策】		
要請と需要に合わせた施設・設備の整備を日頃から点検する。		
【関係者評価】		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法，時期は適切か。	B
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	B
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	B
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	B
【現状の問題点】		
学生募集に関しては教職員協働してよく実行している。		
【改善のための方策】		
今まで全員出勤で対応していたが、状況に応じて一部教員が休めるようにするなど、負担感を減らして、効率よく学生募集を行っていきたい。		
【関係者評価】		
特になし		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	C
【現状の問題点】		
予算執行の管理をする立場の役職者が不足している。予算を意識しながら運営できるように整備を進めていく必要がある。		
【改善のための方策】		
今後副本部長が着任される予定。予算執行については日々相談しながら実行していく。		
【関係者評価】		
特になし		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B
41	個人情報保護法を遵守しているか。	B
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
【現状の問題点】		
個人情報が多い学校という業種なので個人情報保護意識をより高めていく必要がある。		
【改善のための方策】		
個人情報保護法の法律が変わって罰金等の規定ができたため、教職員一同管理を徹底していく。		
【関係者評価】		
特になし		